

RAMSと品質管理システム（ISO9000）の違い

- 従来の品質システムでは、製品出荷時の品質保証を取り扱うが、RAMSは出荷後の試用期間中に変化する製品の品質までを取り扱う
- 一般的な製造業では、製造、納入または設置までが顧客への保証範囲となるが、このVモデル図では、製品出荷後についても要求事項として規定されている点が従来の規格と異なる
- Vモデル図で「運用と保全」は、納入後の運行段階のこと。運用後のスペア部品や保守修理も含めた管理が求められ、日本では全ライフサイクルで責任を問われることが多く、契約時に明確にされていないことが多い

